

『遺書』 作：ポチ子

『遺書』 作：ポチ子

何もしたくない。

だから死にます。

生きていれば、

しなくちゃならないことに、

した方がよいことに、

しなくてもよいことに、

したいことに、

追われてしまうことになるから。

もう全てが面倒なのです。

『遺書』 作：ポチ子

将来への憂いも、

親の心配も、

祖父への連絡も、

姉との電話も、

もうしたくないのです。

したいと思うことも、

したくないのです。

何のために生きるのか。

死んでしまえばそんな事、

考える必要もないから。